

で行ふたのが其儘今日に及んだ詳で謂はし臨時の待遇方法が其儘になつて居るに過ぎない従て大阪の住友工場と同様に
する譯にけりかない、然、大阪の工場と藤藤君が贈せるが如く多額を給與して居るのではない贈よりも遙に少額である
又當所の慰勞金を他の銅山と比較するに他の銅山よりも當所の方が遙に宜しい、して見れば此れを増加する必要がない
ことになる諸君の希望は尙考慮はするがあまり期待されてはいけない

(一一) 休業扶助料に關する宣傳に就て

大阪の住友工場にては公傷の場合の休業扶助料は實金の一人五歩である云ふて居るが、そんなことはあり得べき道理
がない休業して居るものに仕事をせるものよりも五割も多く給與すると云ふことは世界中何所へ行つてもないと思ふ、
よい加減なことを云ふて労働者諸氏を迷はすものではないか、當所は實收の二分の一なるに對し大阪の住友工場にては
實收を本番實金の一人五歩と見て其約六割と給與して居るのである、當所は實收に依る上に特價品や特價米があつたか
ら大阪よりも却て歩がよいことになる譯である、根據のない無責任な噂を盲信しない様に願ひたいものです、要するに
労働運動者は大阪の工場のことをしきりに大げさに吹聴して人を迷はして居る様だが事實は前に述べた通りであるのみ
ならず工場と銅山とは事業の性質も違ひ又都會と地方とを同一に見ることは出来ないのは云ふ迄もないことで、現に都
會にないことで當所に特別な優遇の方法が幾らもある、此等の事を考へず此色々の宣傳をして人を迷はすのは甚だ宜し
くない、どうか此等の宣傳に迷はない様にせられたい

大正十三年十月

住友合資別子鑛業所

(代 啓 事)